

## 令和4年度 国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「探求 現代の国語」(桐原書店)						
副教材等	「漢字検定5～2級対応 新常用漢字必携 パーフェクトクリア 改訂版」(尚文出版) 「三訂版 学習のポイントが見えるよむナビ 現代文1基礎編」(いいづな書店) 「新国語総合ガイド 五訂版」(京都書房)						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・中学校教材よりも難解な文章を読解できる力を身につけます。
- ・様々な文章を「読む力」はもちろん、コミュニケーションのための「話す・聞く力」や意図を伝えるための「書く力」を身につけていきましょう。
- ・文章読解の基本は論理的に読むことです。論理的に読むためにはどうすれば良いのかを、授業中はもちろん、自分で勉強するときにも意識しましょう。
- ・論理的であることは話すときや書くときにも必要です。自分の意図を齟齬なく相手に伝えるために、論理的に伝えることを意識しましょう。
- ・提出物は上記の力を身につけるためのものです。その目的を忘れずにやりましょう。

## 2 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや 考えを広げたり深めたりすることができるようとする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての 自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主題的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

## ※令和4年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1 期	作品を自分に引き寄せて考え、述べる  [教材] わからないぐらいがちょうどいい	a:全文を正しく音読している。 b[ 話/聞 ]:筆者の考えに対して自分なりの考えを持ち、話し合いができる。 c:言葉を通じた他者理解についての筆者の考えに、自らの経験を照らし合わせて自分なりの言語観を持ち、深めている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	作品の主題について考える  [教材] ふしぎと人生	a:「」が付されている語句について、その用法を理解している。 b[ 読 ]:「自然科学」と比較しながら、「神話」の必要性を理解している。 c:「ふしぎ」を追究することの大切さや「自然科学と人間の関わり」について論じた評論を読むなどして、考察を深めている。	ワークシート ノート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	資料を効果的に活用する  [教材] ほどほどのデザイン 言葉の力 (知)の深化 二十億光年の孤独 谷川俊太郎	a:具体例と、筆者の主張との関係を理解している。 b[ 話/聞 ]:本文から読み取ったことをわかりやすく資料にまとめている。また、作成した資料を効果的に用いながら、話し言葉で発表している。 c:本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 定期考査 発表原稿	ワークシート 振り返りシート
	作品の主題を的確に読み取る  [教材] マヨネーズの穴から 環境世界	a:文末の強い言い切りや読み手に訴える言い回しなどに注目して、主要な見解をつかむ方法を理解している。 b[ 読 ]:提示された話題を把握し、論旨に沿って本文を読んでいき、正確に読み取っている。 c:本文の内容をもとに、自分なりの考え方や認識を深めている。	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	自分の考えを文章で表現する  [教材] サイボーグとクローン人間 読む	a:本文の記述と、写真や年表との対応関係を理解している。 b[ 書 ]:本文の内容を参考に、具体例を自分なりに考え、構成や表現を工夫しながら200字程度の文章にまとめることができる。 c:本文中の重要語や慣用句の意味を国語辞典などを用いて調べている。	ワークシート ノート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	効果的な情報伝達の方法を考える  [教材] 実用的な文章2 文化祭を企画する	a:実用的な文章を判別するうえでの特徴を理解している。 b[ 書 ]:効果的な情報の伝達を狙い、書体の選択やレイアウトまで工夫を凝らしている。 c:自校の文化祭企画の場面も想定するなどして、学習で得たことを実際の学校生活でも生かそうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

	単語に注目して本文を読み解く  【教材】 経済の論理／環境の倫理 遅れてきた「私」	a:キーワードや接続語の働きを正確に理解している。 b[ 読 ]: 自分と本文とを関係づけて考えている。 c:自分のことに引き付けて考えようとしている。	ワークシート ノート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
3 学 期	背景知識にまで意識を向け、学習に取り組む  【教材】 食の履歴書 わからうとする姿勢	a:本文の背景となっている物事を理解している。 b[ 読 ]:筆者の考え方や大切だと考えているなことは何かを的確に読み取っている。 c:本文中の具体例を通して、筆者の主張とは何かを考えようとしている。	ワークシート ノート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	様々な思想や表現に慣れ親しむ  【教材】 思想の出自 (知)の深化 現代の短歌十首 (知)の深化 現代の俳句十句	a:全文、各歌や各句をそれぞれ正しく音読している。 b[ 話/聞 ]:作者の心の機微が生かされた表現を各歌、各句の中に見いだし、それらの表現がどのような点でユニークであるのか自分なりにまとめて、説明している。 c:思想や表現の多様性について関心を持っている。	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 定期考査 発表原稿	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[ 話/聞、書、読 ]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … ( 3 0 ) 時間
- ・書くこと … ( 4 0 ) 時間
- ・読むこと … ( 2 0 ) 時間

## 令和4年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「改訂版現代文B」	(数研出版)					
副教材等	・新常用漢字必携パーフェクトクリア (尚文出版) ・現代文解法のテクニック2 (啓隆社) ・新訂総合国語便覧 (第一学習社)						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 論理的に文章を読む力、文章を読むための知識と技術を身につけることを常に意識して学習活動を進めましょう。
- 自分自身の考えを深めるための「読む能力」「書く能力」を高めましょう。
- コミュニケーションのための「話す能力・聞く能力」を高めましょう。
- 予習プリント(語彙・内容把握)が配られたら、しっかり取り組んだ上で授業に臨んでください。
- グループやペアで読んだり、批評したり、話し合ったりする機会を取り入れます。積極的に取り組んでください。
- 定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

## 2 学習の到達目標

- 文章を読んで、構成・展開・要旨などを的確にとらえる。
- 文章を読んで、書き手の意図や人物・情景・信条の描写などを的確に捉え、表現を味わう。
- 文章を読んで批評することを通じて、人間・社会・自然などについて、自分の考えを深める。
- 語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かになるとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現に役立てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝えあう力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させていく。	伝統的な言語文化およびことばの特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 (授業態度) 記述の点検 (ノート・ワークシート・問題集など)	行動の観察 (発表などのパフォーマンス) 相互評価	記述の確認及び分析 (ワークシート・原稿) 相互評価	記述の確認及び分析 (ワークシートなど) 定期考査	記述の点検 (問題集・ワークシートなど) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論	「手の変幻」	○	○	○	◎	○	a:筆者の着想のおもしろさについて関心を持った。 b:ペアワークにおいて自分の意見を伝え、相手の意見を聴きとれた。 c:自分の考えを記述できた。 d:3つの段落の要旨を把握し、芸術と想像力についての筆者の考えを理解することができた。 e:同義の表現や逆説的な表現の意味を正しく理解できた。	a:行動の観察と確認 b:行動の観察と確認 c:記述の確認と分析 d:定期考査 記述の確認 e:定期考査
	詩	「永訣の朝」「表札」	○	○	○	○	◎	a:詩歌を読むおもしろさを体験し、詩歌への興味、関心を持った。 b:ペアワークにおいて自分の意見を伝え、相手の意見を聴きとれた。 c:自分の考えを記述できた。 d:作品が描いている情景を、作者の伝記的事実も踏まえて、思い描くことができた。 e:語句の意味を正しくとらえ、比喩などの表現技法の効果を理解できた。	a:行動の観察と確認 b:行動の観察と確認 c:記述の確認と分析 d:定期考査 記述の確認 e:定期考査
	評論	「『内的成長』社会へ」	○	○	○	◎	○	a:コミュニティや社会のあり方に関する関心を持った。 b:ペアワークにおいて自分の意見を伝え、相手の意見を聴きとれた。 c:自分の考えを記述できた。 d:筆者の考える「生きる意味を育むコミュニティ」について、理解することができた。 e:グローバリズム・ナショナリズムの意味について理解できた。	a:行動の観察と確認 b:行動の観察と確認 c:記述の確認と分析 d:定期考査 記述の確認 e:定期考査
	小説	「山月記」	○	◎	○	○	○	a:本文中の難解な語句や表現について国語辞典などを用いて調べた。 b:登場人物の行動や心理について、自分と他者の受け取り方の違いについて話し合い発表することができた。 c:自分の考えを記述できた。 d:登場人物の行動や心理の変化を的確に読み取ることができた。 e:作品独特のリズムと文体を味わった。	a:行動の観察と確認 b:行動の観察と確認 c:記述の確認と分析 d:定期考査 記述の確認 e:定期考査

2 学 期	評論	「未来世代への責任」	○	○	○	◎	○	a:環境問題に关心を持った b:ペアワークにおいて自分の意見を伝え、相手の意見を聴きとれた。 c:自分の考えを記述できた。 d:筆者の考える「未来の環境に責任を持つことの困難さと必要性」について、理解することができた。 e:筆者の独特な表現の仕方を味わうことができた。	a:行動の観察と確認 b:行動の観察と確認 c:記述の確認と分析 d:定期考査 記述の確認 e:定期考査
	小 説	「無用の人」	○	○	○	◎	○	a:現代小説の面白さを味わおうとしている。 b:ペアワークにおいて自分の意見を伝え、相手の意見を聴きとれた。 c:自分の考えを記述できた。 d:主人公の心理・行動を的確に読み取ることができた。 e:「無用」という語に込められた意味を正しくとらえている。	a:行動の観察と確認 b:行動の観察と確認 c:記述の確認と分析 d:定期考査 記述の確認 e:定期考査
	評論	「日本語は非論理的か」	○	○	○	◎	○	a:日本語の特質に关心を持った b:ペアワークにおいて自分の意見を伝え、相手の意見を聴きとれた。 c:自分の考えを記述できた。 d:筆者の考える「論理力の必要性」について、理解することができた。 e:「論理的」の意味を理解している。	a:行動の観察と確認 b:行動の観察と確認 c:記述の確認と分析 d:定期考査 記述の確認 e:定期考査
	小 説	「野火」	◎	○	○	○	○	a:戦争が人間に与える影響について関心を持った。 b:ペアワークにおいて自分の意見を伝え、相手の意見を聴きとれた。 c:自分の考えを記述できた。 d:極限状況の中であらわになる人間性について考察した。 e:語句の意味を正しくとらえている。	a:行動の観察と確認 b:行動の観察と確認 c:記述の確認と分析 d:定期考査 記述の確認 e:定期考査

3 学 期	小 説	「こころ」	○	○	◎	○	○	a:夏目漱石とその作品に関心を持ち、調べている。 b:ペアワークにおいて自分の意見を伝え、相手の意見を聴きとれた。 c:登場人物の生き方について、自らの生き方と関連させながら、考えたことを述べている。 d:Kの自殺の理由と、Kの自殺後の私の生き方について考察している。 e:「こころ」全文を読み、作品全体の理解を深めている。	a:行動の観察と確認 b:行動の観察と確認 c:記述の確認と分析・相互評価 d:定期考査 記述の確認 e:定期考査
	評 論	「胆力について」	○	○	○	◎	○	a:身の回りにある「あれ?」と思うことに疑問をもつようになった。 b:ペアワークにおいて自分の意見を伝え、相手の意見を聴きとれた。 c:自分の考えを記述できた。 d:「驚く人は驚かされない」「驚かない人は驚かされる」という表現を理解することができた。 e:逆説的な表現の面白さを理解した。	a:行動の観察と確認 b:行動の観察と確認 c:記述の確認と分析 d:定期考査 記述の確認 e:定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く力  
c:書く力 d:読む力 e:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点に○、その中で最も重点を置く観点に◎を付けている。

## 令和4年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B (文系)	単位 数	3単位	年次	3年次
使用教科書	「精選 現代文B 改訂版」 (三省堂)						
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「即戦ゼミ入試頻出新国語問題総演習」 (桐原書店)</li> <li>・「共通テスト対策 現代文完答22」 (尚文出版)</li> <li>・「TOP2500 三訂版」 (いいいぢな書店)</li> <li>・「トータルサポート 新国語便覧」 (大修館書店)</li> </ul>						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・3年間の学習の集大成として、社会に出てからも必要となる幅広い視野と論理的かつ柔軟な思考力のもととなる国語力をしっかりと身に付けましょう。
- ・自分の考えを文章にしたり、文章を要約したりすることのほか、グループでの話し合いや発表など、授業を受ける側の主体的な活動を通して、「読む能力」を向上させるとともに、「話す・聞く能力」や「書く能力」をしっかりと身に付けてください。

## 2 学習の到達目標

- ・様々な文章を的確に理解し、適切に思いや考えを表現する能力を高める。
- ・様々なテーマを扱った評論を数多く読むことにより、物事に対する様々な視点からの見方があることを学び、論理的で柔軟な思考力を育成する。
- ・明治から現代までの優れた小説を読み味わうことにより、登場人物の心情を理解し豊かな想像力と言葉に対する感性を磨くとともに、人生を豊かにする態度を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能 力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学 期	单 元 名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1 学 期	評論	教材: 「わかりやすいはわ かりにくい?」 (鷺田清一)	○			◎	○	a:「思考」における「肺活量」の 必要性について、引用事例を通 じて考えようとしている。 d:引用事例に注目し、筆者の考 えを理解している。 e:読むことに必要な文章の組み 立て、語句の意味、語句の用法、 表記の仕方について理解して いる。	a:行動の観察 d:記述の分析 e:記述の点検及 び定期考查
	小説	教材: 「舞姫」(森鷗外)	○	○	○	◎	○	a:表現に即して、人物や情景の描 写を味わいながら小説を読も うとしている。 b:作品を読んだ感想を互いに発 表しあい、理解を深めている。 c:作品を読んだ感想を文章にま とめて理解を深めている。 d:情景や描写から、人物の様子に ついて考察しながら読んでい る。特に、日本の近代と個人の 生き方との関係について考 えている。 e:文語体や難解な語句を的確に 理解し、作者の思想や作品につ いて理解を深めている。	a:行動の観察 b:発言・発表 c:記述の分析 d:発言や記述の 分析 e:発言や記述の 分析及び定期 考查
	評論	教材: 「身体(の)疎外」 (黒崎政男)	○			◎	○	a:語句や表現に注意して文脈を 捉え、筆者の考え方などを、間違 いなく、過不足なく読み取ろう としている。 d:語句や表現に注意して文脈を 捉え、筆者の考え方などを、間違 いなく、過不足なく読み取って いる。 e:読むことに必要な文章の組み 立て、語句の意味、語句の用法、 表記の仕方について理解して いる。	a:行動の観察 d:記述の分析 e:記述の点検及 び定期考查

2 学期	評論	教材: 「鞆」 (安部公房)				a: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛けかりとしようとしている。  d: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛けかりとし ている。  e: 言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	a: 行動の観察  d: 記述の確認  e: 行動の観察及び定期考査
		教材: 判断停止の快感 (大西赤人)	○	◎	○	a: 現代社会の問題点を考えながら文章を読もうとしている。  d: 考えを深めたり発展させたりしながら文章を読んでいる。  e: 事実や状況を客観的に捉える方法について理解を深めてい る。	a: 行動の観察  d: 記述の分析  e: 記述の分析及び定期考査
		教材: 南の貧困/北の貧困 (見田宗介)	○	◎	○	a: 視野を広げ思考を進めながら文章を読もうとしている。  d: 用語や文体や修辞などに注目しながら文章を読んでいる。  e: 組み立てのしっかりした文章を書く方法を身につけている。	a: 行動の観察  d: 記述の分析  e: 記述の分析及び定期考査
		教材: 飛行機で眠るのは難 しい (小川洋子)	○	◎	○	a: 想像力を働かせながら情景や心情を読もうとしている。  d: 人物の行動や思考・心情を捉えながら読んでいる。  e: 語句に関して、文脈上の意味への理解を深めている。	a: 行動の観察  d: 記述の分析  e: 記述の分析及び定期考査
2 学期	評論	教材: 「私」消え、止まらぬ 連鎖 (高村薫)	○	◎	○	a: 想像力を働かせながら文章を読もうとしている。  d: 論点の関係を捉えることで要旨を把握しながら文章を読んで いる。  e: 文体やレトリックなど、表現の特色について理解を深めてい る。	a: 行動の観察  d: 発言や記述の分析  e: 発言や記述の分析及び定期考査

\* 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力

d: 読む能力

b:話す・聞く能力

c:書く能力

d: 読む能力 e: 知識・理解

評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を付け、また、その単元で主として扱う観点には◎印を付している。

## 令和4年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B (理系)	単位 数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「精選 現代文B 改訂版」 (三省堂)						
副教材等	・「即戦ゼミ入試頻出国語問題総演習」 (桐原書店) ・「共通テスト対策 現代文完答22」 (尚文出版) ・「トータルサポート 新国語便覧」 (大修館書店)						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 3年間の学習の集大成として、社会に出てからも必要となる幅広い視野と論理的かつ柔軟な思考力のもととなる国語力をしっかりと身に付けましょう。
- 自分の考えを文章にしたり、文章を要約したりすることのほか、グループでの話し合いや発表など、授業を受ける側の主体的な活動を通して、「読む能力」を向上させるとともに、「話す・聞く能力」や「書く能力」をしっかりと身に付けてください。

## 2 学習の到達目標

- 様々な文章を的確に理解し、適切に思いや考えを表現する能力を高める。
- 様々なテーマを扱った評論を数多く読むことにより、物事に対する様々な視点からの見方があることを学び、論理的で柔軟な思考力を育成する。
- 明治から現代までの優れた小説を読み味わうことにより、登場人物の心情を理解し豊かな想像力と言葉に対する感性を磨くとともに、人生を豊かにする態度を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能 力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学 期	单 元 名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1 学 期	小 説	教材: 「舞姫」(森鷗外)	○	○	○	◎	○	a:表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。 b:作品を読んだ感想を互いに発表しあい、理解を深めている。 c:作品を読んだ感想を文章にまとめて理解を深めている。 d:情景や描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。特に、日本の近代と個人の生き方との関係について考えている。 e:文語体や難解な語句を的確に理解し、作者の思想や作品について理解を深めている。	a:行動の観察 b:発言・発表 c:記述の分析 d:発言や記述の分析 e:発言や記述の分析及び定期考査
	評 論	教材: 「身体(の)疎外」 (黒崎政男)	○			◎	○	a:語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いないなく、過不足なく読み取ろうとしている。 d:語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いないなく、過不足なく読み取っている。 e:読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	a:行動の観察 d:記述の分析 e:記述の点検及び定期考査
	評 論	教材: 「鞆」 (安部公房)	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとされている。 e:言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認 e:行動の観察及び定期考査

2 学 期	評論	教材: 判断停止の快感 (大西赤人)	○		◎	○	a: 現代社会の問題点を考えながら文章を読もうとしている。 d: 考えを深めたり発展させたりしながら文章を読んでいる。 e: 事実や状況を客観的に捉える方法について理解を深めている。	a: 行動の観察 d: 記述の分析 e: 記述の分析及び定期考査
	評論	教材: 南の貧困/北の貧困 (見田宗介)	○		◎	○	a: 視野を広げ思考を進めながら文章を読もうとしている。 d: 用語や文体や修辞などに注目しながら文章を読んでいる。 e: 組み立てのしっかりした文章を書く方法を身につけている。	a: 行動の観察 d: 記述の分析 e: 記述の分析及び定期考査
	評論	教材: 「私」消え、止まらぬ連鎖 (高村薫)	○		◎	○	a: 想像力を働かせながら文章を読もうとしている。 d: 論点の関係を捉えることで要旨を把握しながら文章を読んでいる。 e: 文体やレトリックなど、表現の特色について理解を深めている。	a: 行動の観察 d: 発言や記述の分析 e: 発言や記述の分析及び定期考査
3 学 期	評論	教材: ネット上の発言の劣化について (内田樹)	○	◎	○	○	a: 結論の導き出し方に注意しながら、評論を読もうとしている。 c: 個々の段落の働きと展開を意識しながら、文章を書いていく。 d: 個々の段落の働きや段落相互の関係を読み取っている。 e: 具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	a: 行動の観察 c: 記述の分析 d: 記述の分析 e: 発言や記述の分析及び定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力  
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を付け、また、その単元で主として扱う観点には◎印を付している。

## 令和4年度 国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	3単位	年次	1年次
使用教科書	「高等学校 言語文化」	(数研出版)					
副教材等	「体系古典文法 九訂版」 (数研出版) 「みるみる覚える古文単語300+敬語30 三訂版」 (いいづな書店) 「よむナビ 古典1 三訂版」「よむナビ 現代文1 三訂版」 (いいづな書店) 「新国語総合ガイド 五訂版」 (京都書房)		「精選漢文」 (尚文出版)				

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

限られた時間の中で知識を定着させていくために、予習復習は必須です。また、授業で使用するノートについては板書を書き写すだけでは評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたこと、クラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

考查だけでなく、定期的に行う小テストや、日々の授業を一回一回大切に取り組んでください。

宿題や予習・復習といった授業に関することだけではなく、知らない言葉を見かけたら辞書を引き、興味のある内容について書かれた本を読むという習慣をつけてください。それを通して、自ら学ぶ方法やその力をつけていきましょう。

## 2 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようとする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
三 季 期	古文にふれよう	a:歴史的仮名遣いについて十分理解し、辞書などを引きながら自ら進んで古語を学習することができている。 b[読]:主語の変わり目を正確にとらえ、児が寝たふりをした理由と僧たちの心情について根拠をもって理解できている。 c:積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、根拠立てて自分の考えを説明しようとしている。	ノート 定期考查	ノート ワークシート 定期考查	ワークシート 振り返りシート
	[教材]『宇治拾遺物語』「児のそら寝」				
	漢文について知ろう	a:送り仮名の原則や主な返り点の決まりについて理解している。 b[読]:訓点に従い、置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を正しく書き下し文に改めている。 c:返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。	ワークシート 小テスト 定期考查	ワークシート 定期考查	ノート ワークシート
	[教材] 漢文入門1・2(短文)				
	古文の物語を読もう	a:重要古語の意味を理解している。 b[読]:かぐや姫との出会いや成長の様子、その後の翁の生活の変化を、描写に注目しながら的確に読み取っている。 c:重要古語の意味を、古語辞典を用いて調べている。	ノート 定期考查	ノート ワークシート 定期考查	ノート 振り返りシート
	[教材]『竹取物語』「なよ竹のかぐや姫」				
一 季 期	隨筆を読もう1	a:言葉のまとまりを的確に押さえて、全文を正しく音読している。 b[書]:'読むこと」「弓射ることを習ふ」と「道を学する」ことを対応させて理解し、作者の考えを的確に捉え、説明している。 c:周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。	小テスト 定期考查	ワークシート 定期考查	ワークシート
	[教材]『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」				
	故事成語の成り立ちを知ろう	a:漢文に特有の語や、音便化した仮定形について、その読みと意味を理解している。 b[話/聞]:故事成語とその成り立ち理解し、順序立てで説明している。 c:範読を参考にして、積極的に音読している。	ノート 小テスト 定期考查	発表 定期考查	発表 振り返りシート
	[教材]「漁夫の利」「狐借虎威」				
一 季 期	「ことば」について考え方	a:作品読解や実際に言葉を定義することを通して、言葉が文化的な背景を持っていることを知り、語感を磨くことができている。 b[書]:作品の内容を正確に解釈したうえで、「自分が編集したい辞書とはどのようなものか」を合理的に説明している。 c:作品の内容を踏まえて、独自の観点からの辞書の編集方法を考えている。	ノート 定期考查	ワークシート 小テスト	ワークシート 振り返りシート
	[教材]『舟を編む』				
	歌物語を読もう	a:歌物語における和歌の役割を理解している。 b[読]:登場人物の心理の推移の描写を丁寧にたどり、心情を読み取っている。 c:「伊勢物語」全体の構成・内容について関心を持ち、調べている。	ノート ワークシート 定期考查	ノート 定期考查	ノート 振り返りシート
一 季 期	[教材]『伊勢物語』「赤川」「筒井筒」				

※令和4年度以降入学生用

	和歌を読もう1 [教材]『万葉集』	a:各歌を句切れに注意して正しく音読している。 b[読]:和歌に詠み込まれた作者の心情を的確に読み取っている。 c:句切れに注意しながら、積極的に音読している。	ワークシート 定期考查	ワークシート 定期考查	ワークシート 振り返りシート
	史伝を読もう [教材]「管鮑之交」「先従隗始」	a:漢文に特有の語や受身形などの基本的な句形について、その読みと意味を理解している。また、漢文に特有の構文について理解している。 b[読]:脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 c:本文中の語句の意味を漢和辞典を用いて調べている。	ノート 小テスト 定期考查	ノート 定期考查	ノート 振り返りシート
	近代の小説を読もう [教材]『羅生門』	a:老婆に対する比喩表現など、特色ある表現の意味と効果を理解している。 b[書]:下人の心理と行動の変化を的確に読み取り、説明している。 c:本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。	ワークシート 定期考查	ワークシート 定期考查	ワークシート 振り返りシート
	隨筆を読もう2 [教材]『枕草子』「雪のいと高う 降りたるを」	a:敬語表現の種類や用法について理解している。 b[話/聞]:『白氏文集』との関係を理解したうえで、内容を正確に読み取っている。 c:清少納言や『枕草子』の内容・構成の特色などを調べたり発表したりしている。	ノート 小テスト 定期考查	ノート 定期考查	ノート 振り返りシート
	論語を読もう [教材]『論語』	a:漢文に特有の語や基本的な句形について、その読みと意味を理解している。また、漢文に特有の構文について理解している。 b[読]:指示語の対象や語句の対応関係に注意して、内容を的確に捉えている。 c:孔子の理想とする学問のあり方について、積極的に話し合いながら考えを深めている。	ノート 定期考查	ノート ワークシート 定期考查	ワークシート 振り返りシート
三学期	軍記物語を読もう [教材]『平家物語』「木曾の最期」	a:敬語表現の種類や用法について理解している。 b[読]:登場人物の心情を話の展開に即して的確に読み取り、木曾義仲と巴の結びつき、義仲と今井四郎の結びつきなどを、比較・対照しながら理解している。 c:武士の装束、武具と戦のありさまなどについて関心を持ち、調べている。	ノート ワークシート 定期考查	ノート 定期考查	ノート 振り返りシート
	和歌を読もう2 [教材]『古今和歌集』 『新古今和歌集』	a:和歌の修辞技法を理解している。 b[話/聞]:各和歌集の歌風を作品に即して理解し、説明している。 c:歌人の略歴や作風・代表歌、勅撰和歌集の歴史などについて、積極的に調べたり発表したりしている。	ノート ワークシート 定期考查	発表 ワークシート 定期考查	ワークシート 発表 振り返りシート
	漢詩を読もう [教材]漢詩	a:各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。 b[読]:漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。 c:押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。	ノート ワークシート 小テスト 定期考查	ノート 発表	ノート 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

現代の小説を読もう	a:作品に登場する「側転」「三夏」という言葉の意味を文脈の中で正確に理解することができている。 b[書]:題名が持つ意味を理解したうえで、独自の題名を提案することができている。 c:進んで題名の意味を解釈し、独自の題名を考える話し合いに積極的に参加することができている。	ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
[教材]『側転と三夏』				

#### 4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[ 話／聞、書、読 ]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … ( 2 0 ) 時間
- ・書くこと … ( 3 0 ) 時間
- ・読むこと … ( 5 5 ) 時間

## 令和4年度 国語科

教科	国語	科目	古典A	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「古典A 大鏡 源氏物語 諸家の文章」 (第一学習社)						
副教材等	学習のポイントが見える よむナビ古文3 演習編 (いいいづな書店)						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 古典作品を数多く読むことによって、古典をより身近なものとして、味わい鑑賞する姿勢を身につけましょう。また、古人が培ってきた言語文化に対する理解を深めましょう。
- 古典作品を読み味わうために、古典文法の知識や語彙力を身につけましょう。
- 予習として何度も本文を音読して、古典作品の文体を味わいましょう。また、辞書を引いて語句調べをし、文脈に沿った本文における語句の意味を調べておきましょう。

## 2 学習の到達目標

古典を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。			まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させていく。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察（学習活動への参加姿勢や態度） 記述の確認（ノート、ワークシート等）			行動の観察（学習活動における発言内容） 記述の確認（ワークシート等） 定期考查	行動の観察（学習活動における発言内容） 記述の確認（ノート、ワークシート等） 定期考查 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学 期	单 元 名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
二 学 期	物語	教材: 『伊勢物語』 「渚の院」 「さらぬ別れ」	○			◎	○	a:古典特有の表現を味わおうとしている。 d:歌物語における地の文と和歌とがどのように機能しているのか理解している。 e:重要な古語の意味、和歌の修辞を理解している。	a:行動の観察、記述の確認 d:行動の観察、記述の確認、定期考查 e:行動の観察、記述の確認、定期考查、小テスト
	物語	教材: 『とりかへばや物語』	○			◎	○	a:古典特有の表現、物語の面白さを味わおうとしている。 d:登場人物の関係、若君と姫君の人物造型を理解している。 e:若君と姫君を「とりかへばや(取り替えたい)」という、物語の趣向を理解している。	a:行動の観察、記述の確認 d:行動の観察、記述の確認、定期考查 e:行動の観察、記述の確認、定期考查、小テスト
一 学 期	物語	教材: 『平家物語』 『住吉物語』	○			◎	○	a:古典特有の表現を味わおうとしている。 d:地の文や和歌の内容から登場人物の心情を理解している。 e:和歌の修辞、「に」「し」「の」の識別方法を理解している。	a:行動の観察、記述の確認 d:行動の観察、記述の確認、定期考查 e:行動の観察、記述の確認、定期考查、小テスト
	物語	教材: 『源氏物語』 「夕顔の死」 「物の怪の出現」 「野宮の別れ」 「螢火のいたづら」 「柏木の懸想」	○			◎	○	a:文学史における源氏物語の位置を理解しようとしている。 d:和歌の修辞に留意しながら正確に読み取る。 e:正確な読解を通して登場人物の人物像に迫り、作品の全体像を把握する。	a:行動の観察、記述の確認 d:行動の観察、記述の確認、定期考查 e:行動の観察、記述の確認、定期考查、小テスト
三 学 期	評論	教材: 『俊頼脳』 『古今集仮名序』	○			◎	○	a:筆者の主意を表す表現の内容を的確に理解しようとしている。 d:本文の内容を理解し、人物像を読み取っている。 e:主要な助詞・助動詞・副詞の意味をおさえた上で正確に現代語訳ができる。	a:行動の観察、記述の確認 d:行動の観察、記述の確認、小テスト e:行動の観察、記述の確認、小テスト

- ※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:話す・聞く能力      c:書く能力  
d:読む能力      e:知識・理解
- ※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。

学校番号	104
------	-----

令和4年度 国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新探求古典B 古文編・漢文編（桐原書店）						
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文單語 330 (いいづな書店)</li> <li>・ニューイージ 漢文 基礎1 (第一学習社)</li> <li>・精選漢文 (尚文出版)</li> <li>・新成古文 2 (尚文出版)</li> </ul>						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・有名な古文と漢文の文章に親しむとともに、現代にも通じる心情等を理解するために、語彙力や文法の知識をしっかりと身につけましょう。
- ・予習として必ず本文を読み、指示された語句の意味を辞書で調べておきましょう。
- ・授業を振り返って、内容や知識を定着させましょう。
- ・提出物の期限を守り、定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

古典としての古文、漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む力	c:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	古典を読んで、内容および、思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、表記等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検（ノート、ワークシート等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認（ノート、ワークシート等）</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認（ノート、ワークシート等）</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動(共通)

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1 学 期	隨 筆 ・物 語	『枕草子』 ・うつくしきもの ・雪のいと高う降りたるを 『伊勢物語』 ・初冠 ・月やあらぬ  有名な作品を読んで古文に親しむ	○	○	○	a: 重要語句の意味を古語辞典で調べている。 b: 作品の構成や展開をふまえて内容を的確に捉え、作者や登場人物の行動と心情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。 c: 一年で学習した用言の動詞の活用・助動詞について理解を確認する。	a: 予習ノートの点検 b、c: 記述の確認および定期考査
	小 話 ・文 章	『病入膏肓』 『漱石枕流』  短めの文章を読んで漢文に親しむ。	○	○	○	a: 現代の日本においても使われている故事成語の表現や小話の原型となる文章に興味関心を持つ。 b: 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 c: 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改め、漢文独自の表現について理解を深める。 詠嘆・願望・受け身・使役などの句形を理解している。	a: 行動、記述の点検 b、c: 記述の確認および定期考査
2 学 期	作り ・物 語	『源氏物語』 ・光源氏誕生 ・若紫  物語を読んで登場人物の行動や心情を読み味わう。	○	○	○	a: 現代の日本においても様々な影響を与えていたる源氏物語に興味を持つ。 b: 作品の構成や展開をふまえて内容を的確に捉え、作者や登場人物の行動と心情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。 c: 基本的な文法事項、和歌の修辞技巧、助詞について理解を深める。	a: 行動、記述の点検 b、c: 記述の確認および定期考査

	史伝	『史記』 ・鴻門之会 ・四面楚歌  少々長めの文章を読んで漢文に親しむ。	○	○	○	a : 中国の有名な歴史的物語に興味を持つ。 b : 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 c : 本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 疑問・二重否定・使役などの句形を理解する。	a:行動、記述の点検  b、c:記述の確認および定期考查
3学期	歴史物語	『大鏡』 ・道長と伊周の競射  歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。	○	○	○	a : 平安時代の社会、その中心にあった藤原一族の興亡に興味関心を持つ。 b: 作者の人間・社会・自然などの対する考え方や感情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。 c : 基本的な文法事項を理解している。	a:行動、記述の点検  b、c:記述の確認および定期考查
	儒家の思想	『論語』 『孟子』  孔子・孟子の思想が現代においてどのような意義を持つか考察する。	○	○	○	a : 古代中国の思想から現代に通じるものを見方・考え方を知る。 b: 中国の主要な思想である儒家の主張の概要を理解する c: 本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 反語・限定・仮定などの句形の読みと意味とについて理解する。	a: 予習ノート、行動、記述の点検。  b、c:記述の確認および定期考查

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:読む力 c:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で3つの全ての観点について評価することとなる。

学校番号	104
------	-----

令和4年度 国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	4単位	年次	2年次
使用教科書	新探求古典B 古文編・漢文編（桐原書店）						
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文單語 330 (いいづな書店)</li> <li>・ニューイージ 漢文 基礎1 (第一学習社)</li> <li>・精選漢文 (尚文出版)</li> <li>・新成古文 2 (尚文出版)</li> </ul>						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・有名な古文と漢文の文章に親しむとともに、現代にも通じる心情等を理解するために、語彙力や文法の知識をしっかりと身につけましょう。
- ・予習として必ず本文を読み、指示された語句の意味を辞書で調べておきましょう。
- ・授業を振り返って、内容や知識を定着させましょう。
- ・提出物の期限を守り、定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

古典としての古文、漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む力	c:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	古典を読んで、内容および、思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、表記等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検（ノート、ワークシート等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認（ノート、ワークシート等）</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認（ノート、ワークシート等）</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動(共通)

学 期	单 元 名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1 学 期	隨 筆	『枕草子』 ・うつくしきもの ・雪のいと高う降りたるを 『伊勢物語』 ・初冠 ・月やあらぬ  『徒然草』 ・家居のつきづきしく  有名な作品を読んで古文 に親しむ	○	○	○	a: 重要語句の意味を古語辞典 で調べている。  b: 作品の構成や展開をふまえ て内容を的確に捉え、作者や登 場人物の行動と心情を読み取 っている。また、本文を適切に 口語訳している。  c: 一年で学習した用言の動詞の 活用・助動詞について理解を確 認する。	a : 予習ノ ートの点 検  b、c : 記述 の確認およ び定期考 査
	作 り 物 語	『竹取物語』 ・天の羽衣 『源氏物語』 ・藤壺  有名な作品を読んで古文 に親しむ	○	○	○	a : 重要語句の意味を古語辞典 で調べている。  b: 作品の構成や展開をふまえ て内容を的確に捉え、作者や登 場人物の行動と心情を読み取 っている。敬意表現に留意し て、話の構成を理解している。  c: 一年で学習した敬語の習熟 度を確認する。	a: 行動、記 述の点検  b、c: 記述 の確認およ び定期考 査
	小 話 ・ 文 章	『病入膏肓』 『漱石枕流』  短めの文章を読んで漢文 に親しむ。	○	○	○	a: 現代の日本においても使わ れている故事成語の表現や小 話の原型となる文章に興味関 心を持つ。  b : 話の展開を把握し、登場人 物の行動や心情を読み取る。  c : 本文を訓点に従って正しく 読み、書き下し文に改め、漢文 独自の表現について理解を深 める。  詠嘆・願望・受け身・使役など の句形を理解している。	a: 行動、記 述の点検  b、c: 記述 の確認およ び定期考 査

2 学 期	日記・作り物語	『源氏物語』 ・若紫 ・桐壺 『更級日記』 ・門出 ・物語  物語を読んで登場人物の行動や心情を読み味わう。	○	○	○	a: 源氏物語に興味を持ち、その源氏物語にあこがれた平安時代の少女の日記に共感する。  b: 作品の構成や展開をふまえて内容を的確に捉え、作者や登場人物の行動と心情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。  c: 基本的な文法事項、和歌の修辞技巧、助詞について理解を深める。	a:行動、記述の点検 b、c:記述の確認および定期考査
	歴史物語	『大鏡』 ・雲林院の菩提講 ・花山院の出家  歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。	○	○	○	a: 平安時代の社会、その中心にあった藤原一族の興亡に興味関心を持つ。  b: 登場人物の設定とその役割を整理して作者の描写の意図を理解する。また、本文を適切に口語訳している。  c: 基本的な文法事項、和歌の修辞技巧、助詞について理解を深める。	a:行動、記述の点検 b、c:記述の確認および定期考査
	史伝	『史記』 ・鴻門之会 ・四面楚歌  少々長めの文章を読んで漢文に親しむ。	○	○	○	a: 中国の有名な歴史的物語に興味を持つ。  b: 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 c: 本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 疑問・二重否定・使役などの句形を理解する。	a:行動、記述の点検 b、c:記述の確認および定期考査
3 学 期	歴史物語	『大鏡』 ・道長と伊周の競射  歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。	○	○	○	a: 平安時代の社会、その中心にあった藤原一族の興亡に興味関心を持つ。  b: 作者の人間・社会・自然などの対する考え方や感情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。  c: 基本的な文法事項を理解している。	a:行動、記述の点検 b、c:記述の確認および定期考査

	軍記	『平家物語』 宇治川の先陣 先帝入水  軍記物語を読み、歴史的な背景を踏まえて、登場人物の心境や行動の意図を読み取る。	○	○	○	a : 軍記物語を読んで、古文に親しむ。 b : 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や信条を読み味わう。表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 c : 軍記物語独特の表現や歴史的な背景を理解する。	a: 予習ノート、行動、記述の点検。 b、c: 記述の確認および定期考査
	儒家の思想	『論語』 『孟子』  孔子・孟子の思想が現代においてどのような意義を持つか考察する。	○	○	○	a : 古代中国の思想から現代に通じるものを見方・考え方を知る。 b : 中国の主要な思想である儒家の主張の概要を理解する c : 本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。反語・限定・仮定などの句形の読みと意味について理解する。	a: 予習ノート、行動、記述の点検。 b、c: 記述の確認および定期考査

表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:読む力      c:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で3つの全ての観点について評価することとなる。

## 令和4年度 国語科

教科	国語	科目	古典B (文系)	単位 数	3単位	年次	3年次
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (三省堂)						
副教材等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「共通テスト対策 古典完答22」(尚文出版)</li> <li>・「私大マーク対応古文過去問題集」(桐原書店)</li> <li>・「即戦ゼミ入試頻出新国語問題総演習」(桐原書店)</li> <li>・「古典文法 改訂版」(東京書籍)</li> <li>・「理解深める 核心古文単語351」(尚文出版)</li> <li>・「精選漢文～重要な句法と語彙を学ぶ～」(尚文出版)</li> </ul>				

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・様々なジャンルの古文と漢文の作品を読んで、古人が培ってきた言語文化に対する理解を深めるための国語の力をより一層深く身に付けることを心がけましょう。
- ・今までに学習してきた漢文の句法や古典文法の知識や語彙力をさらにしっかりと身につけて、読む力をさらに向上させましょう。
- ・予習として、何度も本文を音読して古典作品の文体を味わいましょう。また、辞書を引いて本文中の語句の意味を調べておきましょう。
- ・さらに、便覧等を活用し、作品の文学史的位置づけやその時代の風俗習慣なども調べてみて、作品の全体像も理解するように努めましょう。

## 2 学習の到達目標

- ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
- ・文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。
- ・文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、考え方を豊かにする。
- ・文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。
- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育む。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能 力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)			記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随筆	教材： 『枕草子』 「二月のつごもりに」 「大納言参り給ひて」	○			◎	○	a: 隨筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 d: 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 e: 敬語に注意して正確に読み取る。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	史伝	教材： 『十八史略』 「進遇於赤壁」	○		◎	○		a: 人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わおうとする。 d: 登場人物の言動や心理などを的確に読み取ろうとする。 e: 漢文の句法を理解する。作品の時代背景を理解する。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト
	物語	教材： 『源氏物語』 「廐院の怪」 「明石の君の苦悩」 「萩の上露」	○		◎	○		a: 「源氏物語」の内容や構成に关心を持ち、物語文学への理解を深めようとする。 d: 登場人物の行動や心情を的確に読み取る。 e: 読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
2学期	歴史物語	教材： 『大鏡』 「肝試し」	○		◎	○		a: 登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとする。 d: 人物関係や登場人物の心情を的確に読み取る。 e: 読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

	日記	教材： 『蜻蛉日記』 「うつろひたる 菊」	○	◎	○	a: 日記を読んで、記された事柄や作者のものの見方・感じ方を的確に読み取ろうとする。 d: 和歌に込められた登場人物や作者の心情を正確に読み取り、内容を把握する。 e: 読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている。	a :行動の観察  d :記述の確認及び定期考査  e :小テスト及び定期考査
	史伝	教材： 『史記』 「荊軻」	○	◎	○	a: 著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。 d: 話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。 e: 漢文を読むことに必要な句法を理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検  d :記述の確認及び定期考査  e: 小テスト及び定期考査
3 学 期	読本	教材： 『雨月物語』	○	◎	○	a: 作品の読解を通して、その時代に生きた登場人物の人間像を理解しようとする。 d: 登場人物の行動や心理を話の展開に即して読み取っている。 e: 近世にいたるまでの文学史を理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検  d :記述の確認  e: 小テスト

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:話す・聞く能力      c:書く能力  
d:読む能力      e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域「読むこと」に関わる観点には◎を付している。

## 令和4年度 国語科

教科	国語	科目	古典B (理系)	単位 数	2単位	年次	3年次
使用教科書	精選 古典B 改訂版 (三省堂)						
副教材等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「共通テスト対策 古典完答22」(尚文出版)</li> <li>・「即戦ゼミ入試頻出新国語問題総演習」(桐原書店)</li> <li>・「古典文法改訂版」(東京書籍)</li> <li>・「理解深める 核心古文単語351」(尚文出版)</li> <li>・「精選漢文～重要な句法と語彙を学ぶ～」(尚文出版)</li> </ul>				

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・様々なジャンルの古文と漢文の作品を読んで、古人が培ってきた言語文化に対する理解を深めるための国語の力をより一層深く身に付けることを心がけましょう。
- ・グループごとの古典作品の解釈やテーマを定めた発表・演習などを行って、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
- ・今までに学習してきた漢文の句法や古典文法の知識や語彙力をさらにしっかりと身につけて、読む力をさらにも向上させましょう。
- ・予習として、何度も本文を音読して古典作品の文体を味わいましょう。また、辞書を引いて本文中の語句の意味を調べておきましょう。
- ・さらに、便覧等を活用し、作品の文学史的位置づけやその時代の風俗習慣なども調べてみて、作品の全体像も理解するように努めましょう。

## 2 学習の到達目標

- ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
- ・文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。
- ・文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、考えを豊かにする。
- ・文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。
- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能 力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)			記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随筆	教材： 『枕草子』 「二月のつごもりに」 「大納言参り給ひて」	○			◎	○	a: 隨筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 d: 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 e: 敬語に注意して正確に読み取る。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	史伝	教材： 『十八史略』 「進遇於赤壁」	○		◎	○		a: 人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わおうとする。 d: 登場人物の言動や心理などを的確に読み取ろうとする。 e: 漢文の句法を理解する。作品の時代背景を理解する。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト
	物語	教材： 『源氏物語』 「明石の君の苦悩」「萩の上露」	○		◎	○		a: 「源氏物語」の内容や構成に关心を持ち、物語文学への理解を深めようとする。 d: 登場人物の行動や心情を的確に読み取る。 e: 読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
2学期	歴史物語	教材： 『大鏡』 「肝試し」	○		◎	○		a: 登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとする。 d: 人物関係や登場人物の心情を的確に読み取る。 e: 読解に必要な敬語表現や助動詞などの文法知識を身につけている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

	日記	教材： 『蜻蛉日記』 「うつろひたる 菊」	○	○	◎	○	a: 日記を読んで、記された事柄や作者のものの見方・感じ方を的確に読み取ろうとする。 d: 和歌に込められた登場人物や作者の心情を正確に読み取り、内容を把握する。 e: 読解に必要な助動詞などの文法知識や和歌の修辞法を身につけている。	a :行動の観察  d :記述の確認及び定期考査  e :小テスト及び定期考査
	史伝	教材： 『史記』 「荊軻」	○	○	◎	○	a: 著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。 d: 話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。 e: 漢文を読むことに必要な句法を理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検  d :記述の確認及び定期考査  e: 小テスト及び定期考査
3 学 期	読本	教材： 『雨月物語』	○	○	◎	○	a: 作品の読解を通して、その時代に生きた登場人物の人間像を理解しようとする。 d: 登場人物の行動や心理を話の展開に即して読み取っている。 e: 近世にいたるまでの文学史を理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検  d :記述の確認  e: 小テスト

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力

d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域「読むこと」に関わる観点には◎を付している。